



旧友との再会に懐かしく 190人が集い思い出に花咲かせる



新会長に就任した村上進さん

総会に先立ち町からは、「山田町の近況報告」が行われ、加藤水産商工課長が山田小学校新校舎の建設の経過、新しい道の駅やまだ（愛称・おいすた）のグラウンドオープン、オランダ島サーモンの試験養殖の実施などを説明し、参加者は古里の近況に耳を傾けていました。

総会では、本年度の事業計画や収支予算などが審議され、役員改選では、新会長に村上進さんが就任しました。

東京近郊に暮らす本町出身者が集い、交流を深め合う「ふる里山田同郷の会」が6月18日、東京ガーデンパレス（東京都文京区湯島）で行われました。新型コロナウイルス感染症の影響により4年ぶりの開催となった本会は、今年で34回目を迎え約190人が出席。総会終了後には、「懇親の集い」が開かれ、参加者は久しぶりの同郷人同士の交流を楽しみました。

総会終了後の「懇親の集い」では、新たに会長に就任した村上新会長から小川徹弘前会長に花束を贈呈。村上新会長が「今回、小川前会長から引き継いだ役目をしっかりと果たしていけるよう努めていきたい」と就任のあいさつをしました。その後、昆暉雄町議会議長の乾杯の音頭で幕が開け、参加者らは久しぶりの旧友との再会に笑みを浮かべながら、懐かしい思い出話に花を咲かせていました。

アトラクションでは新保公さんと佐々木ゆみ子さんが民謡を、八幡大神楽保存会の皆さんが演舞を披露。このほか場内では特産品が当たる抽選会も行われ、場内は終始和やかな雰囲気になりました。

4時間という短い時間でしたが、参加した皆さんは同郷の皆さんとの交流に満足した様子で、一年後の再会を誓い合い会場を後にしました。

ひとことインタビュー

山田のお祭りは心躍ります



瀬川かよさん
〔北浜町出身〕
(写真左)

金子タエさん
〔北浜町出身〕
(写真右)

姉妹で参加しました。遠くに住んでいると、ふる里ほどよいものはないと感じます。なかなか帰れません、大好きな山田のお祭りや街並み風景を見ることができてとても懐かしい気持ちになりました。また来年も2人で参加するのが楽しみです。



懐かしい思い出話にお酒が進みます



民謡披露で場内は一層和やかに



八幡大神楽の演舞に盛り上がりました

山田弁が心地よいですね



ただのり
阿部忠則さん
〔境田町出身〕

山田弁で語り合えるこの会が楽しくてずっと参加しています。久しぶりに再会した友人と会話していると、山田に住んでいた頃を思い出しました。この会を通じて同郷の皆さんと繋がりを持つことができるのも魅力の一つですね。



本町特産品の物産販売が行われました

町長室から

6月18日、ふる里山田同郷の会が東京で4年ぶりに開かれた。涙あり、感謝あり、感動の再会であった。震災でご実家を亡くされ帰りたい方も帰れない方もあられる。そのよつな中、八幡大神楽をご覧いただき、古里山田にとつぷりと浸かって頂けたと思つ。今回でご退任した小川椒弘会長には、震災を挟んでの14年間多くのご支援を賜り感謝の言葉もない。今回の東京出張には、もつ一つの目的があつた。震災の翌年から毎年2月に花を送つてくださる池畑さんご夫妻への挨拶である。毎年、礼状はお出ししているが、一度お会いして直に感謝の言葉をお伝えすることである。小1時間ほどお話をし「なぜ山田にお花を」とお聞きしたら「あまり震災報道されない山田町を知つたため」といふ。縁やゆかりがなくとも当町のことを想い、毎年花を送つてくださる心優しいご夫妻に町民を代表し感謝申し上げます。

山田町長 佐藤 信逸